

おいしい梨ができるまで

1 1 ~ 2月 冬の間、木の枝を剪定します。



冬の間、翌年果実をつける枝を残し、古い枝を落とす、剪定作業を行います。

梨の花芽の付き方、枝の太さなど、来年の夏の様子を頭に描きながら、枝を切り、梨棚にしばっていきます。

3月 梨の花芽が膨らみます。

春の訪れとともに花芽も膨らみます。

花芽は少なめの方が大きな果実に育ちます。不要な花芽は3月中に除きます。



4月 花が咲き、受粉作業が行われます。

梨は他の品種の花粉で受粉します。

梨農家は総出で受粉作業を行います。



梨の花の花粉を集め、石松子というピンクの増量剤を入れて、利用します

5月 沢山なった実を落とします。



沢山実った中から、
大きくて形のいい果実を残していきます。
この作業を「摘果(てきか)」と呼びます。



6月 袋をかける品種もあります。

病害虫から梨を守るため、また梨の肌をきれいに
仕上げるために袋をかけます。
主に晩生品種の新高・
新興などにかけます。



7月 最終確認をします。



生育の遅れや傷のある果実は
7月中に落とします。
梅雨の間に総仕上げです。

8月 さぁいよいよ収穫です 丹誠込めて作った梨ができあがりました。



一番人気8月の「幸水」



埼玉県育成 注目の「彩玉」